



議会だより



南中山小学校完成イメージ図

主な内容

議長に福田修治氏	副議長は北野光夫氏
委員会・会派など	2～3頁
予算・条例審査	4頁
一般質問	5～8頁
審議議案一覧など	9頁
委員会審査など	10頁

6月定例会

平成20年第3回越前市議会定例会は、6月13日から6月27日までの15日間にわたって開かれました。この定例会では、市長提出補正予算案1件、条例案1件、一般議案1件、専決承認5件が提案され、本会議の審議、委員会の審査を経て、採決の結果、いづれも可決・承認しました。また、一般質問には16人の議員が市政全般にわたって質問を行いました。

8月臨時会

8月臨時議会は、8月5日～8月8日までの4日間にわたって開かれました。この臨時会では、正・副議長を選出し、任期満了に伴う各常任委員会などの所属を決めました。

なお、新しい会派構成では、政新会、新世紀・市民派ネットワーク、大志、公明党議員団、日本共産党議員団、自由クラブの6会派が結成されました。

議会人事決まる



きたのみつお
北野光夫
副議長
期数2期 41歳
新庁舎建設対策特別委員長などを歴任
(政新会)



ふく だしゅうじ
福田修治
議長
期数2期 68歳
監査委員などを歴任
(新世紀・市民派
ネットワーク)



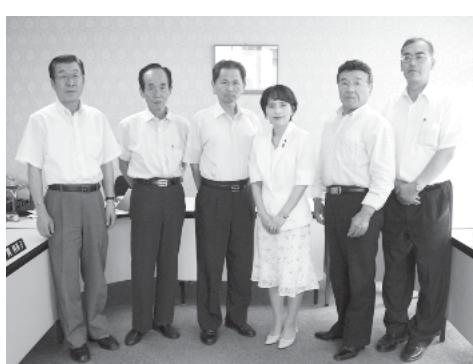
企画部、総務部、市民生活部、
会計課、選挙管理委員会、公
平委員会、固定資産評価審査
委員会及び監査委員会に関する
事項並びに他の常任委員会の
所管に属しない事項を所管

総務委員会



教育委員会、福祉保
び福祉事務所に関する
所管

教育厚生委員会



産業経済部及び農業委
に関する事項を所管

産業経済委員会



委員長	玉村	正夫
副委員長	細川	かをり
委員	吉田	慶一
委員	小形	善信
委員	前田	一博
委員	玉川	喜一郎

建設委員会

市の事務に関する調査及び議案などを審査するため、越前市では条例により、4つの常任委員会が設置されています。

議会運営委員会

円滑な議会運営を図るために、会派間の意見調整や議長の諮問事項を調査します。

委員長	城戸 茂夫
副委員長	嵐 利英子 等
委員員員	上山 直行
委員員員	玉村 正夫
委員員員	金子 芳巧
委員員員	玉川 喜一郎
委員員員	片粕 正二郎

特別委員会

特定の事件を調査するために調査が終了するまで常任委員会とは別に設置された委員会です。

公共交通対策特別委員会

地域公共交通の整備及び利用促進に向け、総合的な調査研究を行う。

委員長	三田村 輝士
副委員長	玉村 正夫

委員員員	関 利英子
委員員員	城戸 茂夫
委員員員	西野 与五郎
委員員員	直行
等	

新庁舎建設対策特別委員会

新庁舎建設に関する調査研

究を行う。

委員長	小形 善信
副委員長	吉田 慶一
委員員員	佐々木 富基
委員員員	伊藤 康司
委員員員	福田 往世

組合議会議員

南越消防組合議会議員

細川 かおり	関 利英子
小形 善信	伊藤 康司

福井県後期高齢者医療広域連合議会議員

玉川 喜一郎	金子 芳巧
玉川 喜一郎	玉川 喜一郎

前田 一博	金子 芳巧

南越清掃組合議会議員

三田村 輝士	川崎 悟司
北野 光夫	前田 一博

福井県丹南広域組合議会議員

前田 修治	片粕 正二郎
前田 修治	片粕 正二郎

公立丹南病院組合議会議員

小形 善信	大久保 恵子
玉村 正夫	大久保 恵子

農業委員会委員

細川 かおり	川崎 悟司
玉村 正夫	大久保 恵子

新世紀・市民派ネットワーク

会長	玉川 喜一郎
会長代行	上山 直行
幹事長	佐々木 富基
幹事長	佐々木 富基
会計	三田村 輝士

公明党議員団

大志	片粕 正二郎
幹事長	前田 一博
幹事長	前田 一博
会計	西野 与五郎
会計	西野 与五郎

日本共産党議員団

日本共産党議員団	玉村 正夫
会長	金子 芳巧
幹事長	城戸 茂夫
幹事長	城戸 茂夫
会計	吉田 勝一

自由クラブ

自由クラブ	玉川 喜一郎
会長会計	玉川 喜一郎

政新会

(9月1日現在)	金子 芳巧
幹事長	北野 光夫

大志

大志	片粕 正二郎
幹事長	前田 一博
幹事長	前田 一博
会計	西野 与五郎
会計	西野 与五郎

諸派

諸派	玉川 喜一郎
会長会計	玉川 喜一郎
幹事長	玉川 喜一郎
幹事長	玉川 喜一郎
会計	玉川 喜一郎

新世紀・市民派ネットワーク

新世紀・市民派ネットワーク	玉川 喜一郎
会長	玉川 喜一郎
会長代行	上山 直行
幹事長	佐々木 富基
幹事長	佐々木 富基

会計

会計	玉川 喜一郎
会計	玉川 喜一郎

顧問

顧問	福田 修治
顧問	福田 修治

会計

会計	玉川 喜一郎
会計	玉川 喜一郎

幹事長

幹事長	玉川 喜一郎
幹事長	玉川 喜一郎

幹事長

幹事長	玉川 喜一郎
幹事長	玉川 喜一郎

会長

会長	玉川 喜一郎
会長	玉川 喜一郎

会長

会長	玉川 喜一郎
会長	玉川 喜一郎

会長

会長	玉川 喜一郎
会長	玉川 喜一郎

会長

会長	玉川 喜一郎
会長	玉川 喜一郎

会長

会長	玉川 喜一郎
会長	玉川 喜一郎

会長

会長	玉川 喜一郎
会長	玉川 喜一郎

会長

会長	玉川 喜一郎
会長	玉川 喜一郎

会長

会長	玉川 喜一郎
会長	玉川 喜一郎

会長

会長	玉川 喜一郎
会長	玉川 喜一郎

会長

会長	玉川 喜一郎
会長	玉川 喜一郎

会長

会長	玉川 喜一郎
会長	玉川 喜一郎

会長

会長	玉川 喜一郎
会長	玉川 喜一郎

会長

会長	玉川 喜一郎
会長	玉川 喜一郎

会長

会長	玉川 喜一郎

</

一般会計予算 5,880万円を補正

(千円)

	補正前	補正額	補正後	伸び率(%)
一般会計	29,120,000	58,800	29,178,800	0.2

6月定例会

予算審議

※()内は質疑をした議員名

会が中心となり、地域の関係団体と連携を図つてもらつていると認識している。

づくりを考えていくべきであると思つてゐる。

一般議案審議

■工事の委託協定について

(細川・城戸・中西・玉川議員)

■福井鉄道福武線活性化事業 40000万円

(題佛・北野・玉村・城戸・中西・玉川議員)

問 福武線の維持修繕に対す
る4,000万円の助成は、負担
どこで話し合がされ、負担
割合が決められたのか。

答 負担割合については、ま
だ合意に至つていない。これ
から3市で多面的な面から検
討を行い決定するものだと
思つてゐる。

■バリアフリー推進事業 △225万円

(前田修・中西・玉川議員)

問 民間施設のバリアフリー
事業で県がやめるから市も
やめると聞いているが、市
単独でも残すような考えは
無いのか。

答 この事業を行うためには
県の負担分も持たなければな
らないので市の持ち出しが多
くなつてしまふ。限られた予
算の中で、優先順位が高いも
のから事業化することを考え
ている。

■スクールソーシャル ワーカー配置事業 250万円

(三田村・大久保議員)

問 現在の希望学園園長がこ
の仕事を兼務することになつ
てあるが、兼務ではなく新た
に設置するべきではないか。
答 希望学園園長は、現在の
業務の中で、既にスクールソ
シヤルワーカーの役割の一端
を担つてるので、既存業務
を少し拡大してもらうのが最
善の方法であると考えてゐる。

■工事の委託協定について

(細川・城戸・中西・玉川議員)

■工事の委託協定について 工事委託協定は、かなりの金 額が日本下水道事業団に委託 されているが、そろそろ見直 しが必要ではないか。

問 これまで浄化センターの
工事委託協定は、かなりの金
額が日本下水道事業団に委託
されているが、そろそろ見直
しが必要ではないか。
答 浄化センターのように戸
門性が必要な工事は事業団に任
せるほうが経済的であり、職員
の削減計画もあるので、職員の
配置も考えながら、委託できる
ところは委託していく。

■コミュニティ助成事業 1600万円

(細川議員)

■豊かな体験活動推進事業 167万円

(三田村・細川・中西議員)

(三田村・玉村・大久保議員)

80万円

問 防災と防犯に対応する
ネットワークづくりのため、
小学校単位のさまざまな団体
の連携を図る事業であるが、
過去に補助金を受けた5地区
においてはネットワーク化は
進んでいるのか。

答 地区の防災・防犯ネット
ワークについては、自治振興
事業や里山再生事業の中では、児
童・生徒が体験できる仕組み
についている。

■学校適応支援事業 不登校対策には、学級復 帰支援員の配置は非常に重要 な役割を果たすが、根本的な 対策も立てる必要があるので はないか。

答 不登校をゼロにするには、
本当に楽しく学校へ行きたくな
るような体制を作つていかなければ
ならないと思っている。



家久浄化センター

一般質問

諸派 片粕 正二郎

新世紀・市民派ネットワーク

政新会 城戸 茂夫

公明党議員団 吉田 慶一

丹南広域圏について

Q 平成の大合併後、丹南広域組合圏内で市町間の財政力格差が広がってきてているが、管理者としての認識は。

A 今後とも、行政課題が複雑・多様化し広域組合に対する期待が高まつてくると考えており、さらなる推進を図る中で、圏域住民の福祉向上に努めていきたい。

自主防災組織について

Q 市は各町内単位で自主防災組織を作るよう指導しているが、町内ではなくもつと範囲を広げて取り組めないか。

A 地域住民が自動的に防災活動を行う組織として、最も身近な町内での結成をお願いしているが、小さな町内においては、近隣の町内と協働での組織作りを求めていている。

資材の高騰対策について

Q 資材高騰対策として、国は単品スライド条項という、建設資材が急激に値上がりした場合に、ある程度の工事費をカバーする制度を発動したが、越前市としての考えは。

A 国から取り扱いに対する詳しい通知が来た段階で、国・県の取り扱いも含めて検討し対応していきたい。

入札制度について

Q 工事の品質確保のため、測量・調査・設計等の委託業務に係わる最低制限価格の導入に取り組むべきでは。

A 最低制限価格制度だけではなく、総合評価、業務成績評価等も加えた制度改革が導入できないか研究し、県や他市の動向も踏まえて検討していきたい。

市民バスについて

Q 市民バスは、町なかに人を集めるコミュニティバスとしての考え方を取り組むべきではないか。

A 市民バスのあり方については、合併前から検討を続け、昨年から路線バスと連携した住民福祉の向上を目指していく。まだ一年を経過したばかりでもう少し検証をしたい。

福井鉄道福武線について

Q 住民の乗る運動も大切だが、市としてパーク・アンド・ライドの駐車場を整備して、乗る運動を支援できないか。

A 再建スキームに新駅設置やパーク・アンド・ライド駐車場整備等が組み込まれており、その事を優先的に取り組んでもらえるような連携計画の策定を目指して行きたい。



パーク・アンド・ライド駐車場の整備が望まれる福武線西武生駅



今年10月に開催される里地里山全国フォーラム

地球温暖化対策について

Q 自分で出した二酸化炭素は自分で責任を持ち、二酸化炭素削減のために投資することで相殺するカーボンオフセット制度があるが、この方式の推進はできないか。

A 今年の10月に、越前市西部で開催される里地里山保全再生全国フォーラムを契機に植樹に取り組みたい。

新型インフルエンザについて

Q 平成19年3月に国は新型インフルエンザ対策のガイドラインを策定したが、越前市としての対策は。

A 現在、国のガイドラインを踏まえて、県がガイドラインを策定中である。市としても、策定された県のガイドラインを踏まえて行動計画を策定したい。

一般質問

日本共産党議員団

玉村 正夫

政新会 金子 芳巧

新世紀・市民派ネットワーク
三田村 輝士

政新会 中西 真三

嘱託・臨時職員について

各種募金について

福武線支援について

人間ドック助成について

Q 越前市において多くの非正規職員が働いており、官製ワーキングプアとも呼ばれているが、待遇の改善が必要ではないか。

A 平成19年から、賃金や休暇、社会保険、公務災害の補償等を明文化した嘱託・臨時職員に関する要綱を定めて待遇改善を行なっている。

Q 社会福祉協議会の社会福祉募金は、市民の互助精神により集まつたお金であるが、その使途目的については、市民に対するPR・説明等が不足しているのではないか。

A これらの募金については、今後とも市民の方に理解をしていただけるよう十分配慮をしていきたい。

Q 後期高齢者医療制度には人間ドックの制度がないが、このことに対する越前市としての対応は。

A 人間ドック助成事業については、各医療保険者が行うべき問題と認識している。広域連合に対しては、構成市町間で連携してぜひ実施してほしいと要望している。

Q 越前市において多くの非正規職員が働いており、官製ワーキングプアとも呼ばれているが、待遇の改善が必要ではないか。

A 平成19年から、賃金や休

高齢者医療について

公共施設耐震計画について

緑化推進について

総合計画見直しについて

Q 全国的に健康診断の助成

対象から75歳以上の高齢者を外す自治体が増えているが、越前市としてどのように対応するのか。

A 本市においては、75歳以上上の高齢者の方に対しても健康診断を受診していただけるよう受診券を発行し、積極的な受診をお願いしている。

Q 学校の耐震化計画は策定されているが、公民館等の公共施設の耐震計画はどうなっているのか。

A 今後の耐震化の取組みについて、今年5月に策定した市の建築物耐震改修促進計画に基づき、今後策定する市有建築物の耐震化推進計画の中で検討していく。

市庁舎南側のグリーンカーテン



昨年の赤い羽根共同募金

Q 中心市街地のヒートビル対策として、市役所の屋上を緑化するという取組みは出来ないか。

A 7月から9月にかけて、青年会議所と協働で市役所南側1階のグリーンカーテン活動に取り組む予定であり、府内においても職員提案の中でも屋上緑化を検討している。

Q 総合計画には下水道事業や吉野瀬川ダム、丹南総合公園など多くの事業があるが、事業を検討し見直す時期に来ているのではないか。

A 健全財政のもとで必要な事業を進めることが大事で、行政構造改革プログラムと実践プログラムを毎年運動しながら見直しを図っていく。

一般質問

日本共産党議員団

前田 修治

政新会 川崎 悟司

公明党議員団 関利英子

政新会 小形 善信

後期高齢者医療制度について

Q 後期高齢者医療制度が4月に波乱のスタートをきり、現在は手直しを行っているが、この制度に対する認識は。

A 国の責任で高齢社会にふさわしい安定的な医療保険制度を確立する事が必要であり、市長会を通して引き続き国に対応を求めて行きたい。

北陸新幹線について

Q 市民感覚では新幹線は本当に必要なのかという声が多いが、市民のニーズと認識のズレがあるのではないか。

A 中部地域でみても新幹線がないことは交流人口や経済振興でデメリットであり、新幹線計画が今進められている状況の中でこれを活かさないと手はないと考える。

地域別構想について

Q 現在、自治振興会を中心にお17地区で活動しているのに、都市計画マスターープランでは、なぜ8つの地区に区分しているが。

A 各地区がまちづくりを進めることで、土地利用条件、地域性の観点から、類似するいくつかの地区をまとめて8つの地域に分類した。

土地利用について

Q 用途地域において、現状の用途と土地利用が合っていない所があるが、現状に合わせた用途地域に変更する予定はあるのか。

A 必要に応じて用途区域の変更を検討していく必要があると認識しており、県の丹南地区マスターープランの変更と併せて考えていく。

自転車の安全運転について

Q 安全運転と改正道路交通法周知のため、学生はもとより高齢者、主婦、社会人等も対象とした自転車安全教育を推進するべきではないか。

A 改正道路交通法については広報5月号に掲載し、各種研修会でも周知を図っており、学生には交通指導員による交通安全教室を開催している。

庁舎の全面禁煙について

Q 県内でも県庁や小浜市、勝山市が庁舎の全面禁煙を決めたが、受動喫煙を防止する観点から越前市も庁舎を全面禁煙にする考えはないか。

A 庁舎の禁煙については、市の安全衛生委員会で議論をし、県や他市の動向も踏まえて職員自らが主体的に決める事が望ましいと考えている。

防犯パトロール



市庁舎内の喫煙室

防犯カメラの設置について

Q 最近、学校周辺で不審者の出現が増加しており、防犯用の監視カメラを設置する自治体が増えてきている。本市でも設置する考えはないか。

A 防犯カメラの設置にはいろいろな課題があり、自治振興会やPTAによる登下校時の見回り活動や防犯パトロールで対応していきたい。

サイバー犯罪対策について

Q 出会い系サイトや学校裏サイトなどを利用した犯罪が全国的に増えているが、これらに対する対処法は。

A 対処が非常にむずかしくファイルターリングをつけることが一番良いといわれている。

Q 生徒にはいつでも加害者や被害者になりえるという情報モラルを指導していきたい。

平成20年6月定例会・8月臨時会の審議議案

◎満場一致

6月定例会

【補正予算】

○平成20年度越前市一般会計補正予算(第1号)

【条例案】

○越前市手数料条例の一部改正について

【一般議案】

○工事の委託協定について

【専決承認案】

○専決処分の承認を求める」とについて(平成19年度越前市一般会計補正予算(第7号))

○専決処分の承認を求める」とについて(近畿圏の近郊整備区域及び都市開発区域の整備及び開発に関する法律の施行に伴う市税賦課徴収条例の特例に関する条例の一部改正について)

○専決処分の承認を求める」とについて(越前市市税賦課徴収条例の一部改正について)

○専決処分の承認を求める」とについて(越前市都市計画税条例の一部改正について)

○専決処分の承認を求める」とについて(越前市国民健康保険条例の一部改正について)

○専決処分の承認を求める」とについて(越前市国民健康保険条例の一部改正について)

○専決処分の承認を求める」とについて(越前市市税賦課徴収条例の一部改正について)

○農業農村の整備を国が着実に推し進めることを求める意見書の提出について

○後期高齢者医療制度に関する意見書の提出について

○米価の安定と稻作農家の育成を求める意見書の提出について

○子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書の提出について

○福井鉄道福武線の運行支援を求める意見書の提出について

8月臨時会

○越前市議会委員会条例の一部改正について

議員の派遣について

活動報告

議会史(旧武生市)を販売しています

閉会中の議員活動として、

6月定例会が終了してからも
さまざまな活動をしています。

▼第一巻：明治維新～昭和30年	7000円
▼第二巻：昭和31年～49年	9000円
▼第三巻：昭和50年～平成8年	10000円

議会運営委員会

7月14日～15日に先進地視

視察

7月14日～15日に先進地視



議会運営委員会行政視察(三重県庁)

9月定例会日程

▼9月8日(月)

本会議(提案理由説明)

▼9月11日(木)～12日(金)

本会議(質疑、委員会付託、

一般質問)

▼9月18日(木)～19日(金)

各常任委員会、特別委員会

▼9月24日(水)

本会議(委員会審査結果報告、質疑、討論、採決)

※議事の都合により日程が変更になる場合があります。

委員会審査

6月定例会では市長から提出された議案を審査するため、各委員会が開催されました。
掲載記事は委員長報告の主な内容です。

総務委員会

■福武線活性化事業について

委員からは、福井市、鯖江市、越前市3市間の負担割合について、今後の協議に向けた考え方方がただされました。

理事者からは、今回の補正では、3市が共同して県に対し早急な取り組みを求めていくことや、あくまで仮置きと

いうことで維持補修費に対する支援額を計上したが、過去の低床車両導入時の負担割合のままで進めるということではない。なお、再建スキームに盛り込まれている用地取得費を含めた3市の負担割合については、まだ結論を得るには至つておらず、今後も適時、的確に議会に相談し、意見を

いたぐ中で、県と3市の協議の場において主張すべき所は主張し、市民の理解が得ら

れるようにしたいとの答弁がなされました。

さらに、委員からは、地域公共交通を守るために、それが果たすべき役割の中で、県が果たすべき新経営陣の選出という一番重要な取り組みが遅れているので、一日も早く選出するよう強く要望すべきではないかとただされました。

理事者からは、今回の工事については、難易度の高い工事で高度な技術と実績が要求されるため、分割発注は考えていなかつたとの答弁がなされました。

理事者からは、それぞれの役割の中で、引き続き、県が強いリーダーシップを發揮していただき、新しい経営者の選出を早急に行うよう、あらためて強く県に要請していくと答弁がなされました。

さらに、委員からは、今後の工事発注に際して、技術的に難しいものについては委託協定もやぶさかではないが、分離発注方式を取り入れることも検討し、地元で出来る工事については地元の業者を優先に考えてほしいとの要望意見が示されました。

建設委員会

■工事の委託協定について

委員から、今回の工事委託については地元の業者でも対応が出来る工事もあるよう

に聞いているが、分割発注する考え方がなかつたのかただきました。

理事者からは、これまで設用地の確保だけでも進めるべきではないかとの意見が出されました。

本会議の様子は、丹南CATVでご覧になります。一般質問時には、質問項目一覧を放映するなど、分かりやすい放送に努めています。



新庁舎建設 対策特別委員会

委員から、新庁舎建設についてはこれまで本委員会並びに本会議において多くの議論がなされてきたところであるが、新庁舎建設に対する進捗が見えない中、まず庁舎建設用地の確保だけでも進めるべきではないかとの意見が出されました。

理事者からは、これまでも市長の本会議での答弁にもあるように、合併協定を尊重する中で新庁舎建設に向け計画的に基金の積み立てを進めているところであり、用地の取得に関しては基本計画が決まっていない

現段階では土地の確保は困難であり、必要な時期に用地を確保していくとの答弁がなされました。

さらに、本委員会として、本市と同じような状況の下で新庁舎の建設を計画している事業については地元の業者を優先に考えてほしいとの要望意見が示されました。

市議会を傍聴しましょう

本会議は、住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも

も傍聴できます。場所は本庁舎別館6階です。来庁は、なるべく公共交通機関を利用するか乗り合わせでお越しください。

■問い合わせ先

市議会事務局

TEL (22) 3426

調査研究を深めていくべきと
の意見が出されました。

市議会だより 第13号